

## 会 議 議 事 録

1 会議名	平成30年度第2回長岡市寺泊水族博物館協議会
2 開催日時	平成30年11月12日(月)午前11時から午後2時
3 開催場所	上越市立水族博物館うみがたり 視察研修
4 出席者名	協議会委員 大浦方委員、古川原委員、田中委員、遠山委員 柳下委員、山田委員  (事務局=科学博物館) 小熊科学博物館長、佐藤科学博物館館長補佐 青柳寺泊水族博物館長、安藤主査、矢引主査、古澤臨時職員
5 欠席者名	石井委員、金内委員、品田委員、中川委員
6 議題	上越市立水族博物館うみがたり視察研修  (1) 施設見学  (2) 意見交換会
7 審議結果の概要	(1) 施設見学  ・施設概要を上越市立水族博物館長より説明  ・展示エリアを見学  ・上越市立水族博物館副館長の案内でバックヤードを見学  (2) 意見交換会  上越市立水族博物館の現状と今後の管理運営や建設に際して水族館の在り方、方向性、基本理念について質疑応答

8 審議の内容	
上越市立水族博物館長	(1) 上越市立水族博物館うみがたり 施設見学
委員	(施設概要等について資料により説明)
委員	(展示エリアを自由見学)
委員	(上越市立水族博物館副館長の案内でバックヤードを見学)
委員	(2) 意見交換会 上越市立水族博物館の現状と、今後の管理運営や建設に際して水族館の在り方、方向性、基本理念について質疑応答。 主な質疑応答は次のとおり
上越市立水族博物館長	上越市立水族博物館のコンセプト、基本理念は何か。
委員	「愛着と誇り持てる、まちを元気にする水族館」をコンセプトにしている。今年6月にオープンして半年あまり経つが、近隣の飲食店の売り上げは2～3倍、宿泊施設の予約状況は例年の2割増となっていると聞いている。「まちを元気にする」に貢献できており喜ばしい状況といえる。
上越市立水族博物館長	どのような水族館として運営していくのか。
委員	上越市立水族博物館は上越市に80年以上続く歴史ある水族館である。この度株式会社横浜八景島が指定管理者となり運営していくことで教育とレジャーの2つの要素を併せ持つ水族館として生まれ変わった。株式会社横浜八景島には25年にわたる水族館運営の実績とノウハウがある。これまでの歴史を大切にしながら多くのお客様に訪れていただける上越市の新しいシンボルになっていきたい。新水族館ではシロイルカ、マゼランペンギン、イルカショー、大水槽を4本柱と位置付けており今後さらに内容の充実を図っていく。

委員	職員体制について伺いたい。
上越市立水族博物館長	売店や食堂のテナントは別として、職員は皆、株式会社横浜八景島に属している。現在72名の職員が在籍しており、飼育部門と管理部門が半々の割合となっている。若いスタッフが多いので育成に努めている。
委員	新水族館はおおまかには教育施設か、それとも観光施設か。
上越市立水族博物館長	教育施設であると考えている。訪れた多くの方々に生き物を好きになってもらいたい、興味を持ってもらいたい。それが水族館の役割だと考えているので、その思いをできるだけ多くの人に伝えたいため、来館者増に力を注いでいきたい。新しい水族館はイルカのパフォーマンスや飼育数世界一のマゼランペンギン展示など、たくさんの方が訪れ楽しみ生きものの魅力を伝えることができる水族館になったと考えている。
委員	運営計画の目標達成のために工夫していることがあったら伺いたい。
上越市立水族博物館長	常に情報発信に努めている。いかにマスコミに目を向けてもらえるかを意識している。
委員	来館者の傾向、年齢、性別、県内外、リピーター、周辺観光地への立ち寄り等を伺いたい。
上越市立水族博物館長	6月のオープンから10月14日までの期間中延べ50万人のお客様がみえた。傾向としては、開館当初は若いファミリー層と若者の来館が多く、今は契約券を購入したファミリー層や年配のお客様が増えている。県内と県外の割合は半々で、県内の半数が上越市内、県外の半数が長野県からである。団体の誘客活動では、今年2月に新潟市、前橋市、金沢市、長野市などに出向き、観光業、マスコミ関係者を招いて施設説明会を行った。このような取り組みが功を奏した。今は冬に向けて富山市からの誘客に力を入れている。

9 会議資料 別添のとおり